

# 国語科（現代文）学習指導案

日時 平成24年10月29日6校時

場所 湯沢高校 2年F組

対象 2年F組

指導者 富野晶子

- 1 単元名 評論『『大人になる』ことのあいまい化』（「探求現代文」改訂版 桐原書店）
- 2 単元の指導目標
- ・前近代社会から近代社会への変化の中で、「大人になる」ことの意味がどのように変化したか読み取る。
  - ・「大人」として認められる根拠が曖昧な現代社会において、どのような問題が生じることが考えられるか、予測する。

### 3 単元の評価規準

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
・近代以前と近代以降で、「大人」「子ども」の意味や社会的位置づけにどのような変化が見られたのか、興味を持って読み取ることができる。	・自分の考えをまとめ、発表することができる。	・自分の考えを書いてまとめることができる。	・文章の内容を理解し、的確に論旨を読み取ることができる。	・前近代の「通過儀礼」について、例を挙げることができる。 ・「大人になる」ことが曖昧な現代社会において、どのような問題が生じるか考えることができる。

### 4 単元とクラス

対象クラスは、2年生の理数科クラスであり、学習への意欲、能力ともに高い生徒で構成されている。2年生になってからは評論を2つ読んでおり、評論文の読み方の基礎は身につけている。この教材では論理的な読解力をより高めたい。

5 指導計画 全4時間 導入部分 1時間 展開部分 2時間(本時1/2) 結論部分 1時間

### 6 本時の計画

- (1)本時の目標
- ・第2段を読み、近代から現代にかけて「子ども」の社会的位置づけがどのように変化したのかを読み取る。
  - ・「子ども」の位置づけの変化の背景にはどのような社会的変化があったのか理解する。

### (2)学習過程

過程	学習内容並びに学習活動	指導上の留意点	評価の観点
導入 5分	・前時の復習	・近代以降と近代以前において「大人になる」ことの意味がどのように変化したか確認する。 ・現代の「教育課程」制度が、大人になる時点を曖昧にしている原因であることを確認する	・近代以前と以降でどのようなことをもって「大人」とみなしていたのか、本文中で述べられている部分を指摘できる。(読)(知)
展開 35分	・近代以前の「子ども」と近代以降の「子ども」の、社会的位置づけの違いについて考える。	・保護され、教育されるべき「子ども」という存在が、「家族」という単位の変化と併せて出てきたことに気づかせる。	・「子ども」の扱いの変容、及びその背景にある社会の変容についてそれぞれ読み取り、理解することができる。(読)(知)
まとめ 10分	・第一段と第二段の内容を踏まえた上で、「通過儀礼」を経て大人になるという考え方や、近代的な「子ども」が存在しなかったという考え方を比較する。	・現代の自分たちの生活を思い浮かべて、近代以降の「子ども」と「大人」のありかたを考えさせる。	・二つの見方が同じ近代以前の現象を異なる視点から見ていることに気づく。(読)(知)

## 授業後の研究協議会の記録【国語科】

### 《授業者より感想・反省点》

・生徒の発言から「広げ」、「深める」ことを目標としたが、発言から内容を深めていくという点あまりうまくいかなかったため、今後の課題としたい。具体的な実践方法としては、生徒同士で意見を交換させ、そこからさらに発展させていくことを行っていきたい。

### 《国語科からの意見》

・評論の本文の中に「共同体」という言葉が頻出したが、生徒はこの言葉を理解して使用しているのか疑問。深い理解をしないで使用しているような場面が多々あった。

・発問の中に「自分の言葉で説明する」ということを提示したが、生徒は本文の抜き出しで誤魔化そうとしていた。抜き出しで答えられないような発問を工夫すべきだ。

・指導案では10分となっている導入部分が非常に長く、肝心の展開部分が充実さに欠けていた。いかに重要度の高い部分に時間をかけていくかが課題だ。

### 《他教科の先生方からの意見》

・「自分の言葉で説明する」という発問は、生徒にとって突発的には難関。文中に根拠を求めさせ、そこから自身の言葉で説明させることに発展させていくことが国語科の目標である。

・普段の授業の人間関係、信頼関係がよく表れている良い授業だった。

・「言語の問題」に関しては英語科でも通じる点がある。自分の言葉で表現することは非常に難しいことであるので、国語科でトレーニングしてほしい。

・今回の授業クラスである理数科で、様々な独自の観点から協議させ、取り組ませることを目標として設定している、是非授業の中で実践してほしい。

・今回の授業では机間巡視をしていなかったが、生徒の実態を把握する上でも机間指導は非常に大切である。

・指導案について、学習過程における「学習内容並びに学習活動」を一見すると、生徒の活動内容が見えてこない書き方であった。授業を組む際に、生徒の活動を予見した活動内容を予想して書き記す必要がある。それにより、プランとして授業に役立っていく。

### 《指導主事からの助言》

#### 〔指導案について〕

・何を発問するのかが判然としないので、学習活動を具体的に表記すべきである。

・学習活動の見える指導案の工夫が必要

#### 〔1か月前課題について〕

・発問の仕方が煩雑である箇所が見受けられた。生徒に考えさせるような投げかけ方が求められる。発問は授業の勝負所であるので、しっかりと練られた発問をしなければならない。

#### 〔テクニカル的な助言について〕

・中学では板書計画を綿密に行うが、高校ではそうではない。板書においては、チョークの色分けの意味を的確にすることが大切である。ビジュアル的に見て、思考過程だけでなく、生徒がどう理解したら良いのかが分かる板書であることが必要である。

・評論文を読む際、思考過程を理解させるには丁寧に読ませる必要がある。評論は感覚的に読ませるものではないので、今回の授業のように丁寧に読み進めていくことで、評論文の読み方を習得していくことができる。